

## 社会に対する責任の実践

### 品質向上への取り組み

#### 品質に対する考え方

確かな品質の提供により、お客様の満足向上と信頼に込めていくことが、当社の使命であると考えています。当社は、ISO9001の国内全事業所一括認証を維持し、マネジメントシステムの運用を通じてお客様にご満足いただける品質の提供に努めています。そのために、施工着手前の事前検討の充実、施工中の品質事故の削減ならびに各種検査試験の確実な実施に取り組んでいます。また、各種社内研修及び教育訓練により、従業員ならびに協力会社のレベルアップに取り組んでいます。

#### 施工検討会

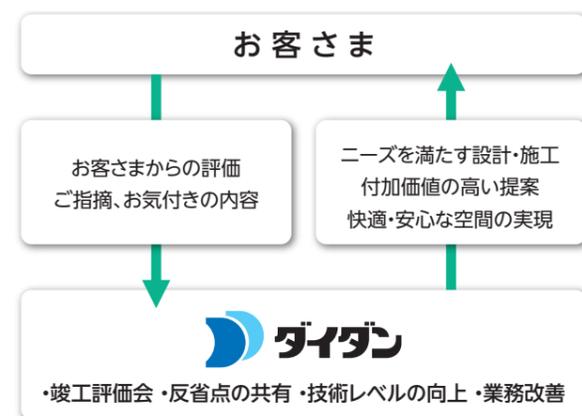
当社は、長い社歴の中でさまざまな産業や建物用途のお客様に建築設備を提供してまいりました。多くの施工実績と知見をお客様の設備に活かすため、営業部門や技術部門、該当する専門部署などの関係者一同が参加する、プロジェクトごとの検討会を開催しています。機能・品質・コスト・省エネルギー性など、さまざまな視点から見て、お客様にとって“最適品質”となる設備の提供を目指しています。

#### 建物カルテシステム

豊富な施工実績を活かすため、社内情報システム「建物カルテシステム」を運用しています。建物ごとに、「実施した工事の内容」や「ご提案内容」「お客様からの要望事項」等をカルテ（履歴情報）として記録しています。建物を快適にお使いいただくためのきめ細かい設備改善提案をさせていただくことで、お客様の満足度向上を目指しています。

#### お客様評価

当社は、竣工引渡しを行った建物について「お客様満足度調査」を実施しています。この調査は、お客様から当社の技術力や施工管理について4段階（4点満点）で評価していただき、満ちに至らなかった事項や当社への要望なども記載していただいています。2024年度は286件の回答があり、総合的評価の平均点は3.67点でした。お客様の満足している点、満足していない点を把握し、業務を見直す機会として活用しています。今後も満足度調査や直接対話を通じて、お客様とのコミュニケーションを深めていきます。



#### ▶お客様満足度調査結果

4点満点（4点…満足、3点…概ね満足、2点…やや不満、1点…不満）

項目	2022年度	2023年度	2024年度
施工体制	3.53	3.46	3.62
施工管理	3.54	3.46	3.59
工夫や提案	3.56	3.49	3.56
バックアップ体制	3.52	3.38	3.53
総合的評価	3.58	3.53	3.67

【回答件数】 2022年度：611件、2023年度：351件、2024年度：286件

## 人権デュー・ディリジェンスの取り組み

2011年に、国連人権委員会にて「ビジネスと人権に関する指導原則（UNGP\*）」が採択され、「人権を尊重する企業の責任」が表明されました。

この中で企業は、①人権方針の策定、②人権デュー・ディリジェンスの実施、③苦情処理メカニズムの構築の3つの取り組みの実施を求められています。

また日本国内でも、2020年に企業活動における人権

尊重の促進を図るため、「ビジネスと人権」に関する行動計画が策定されました。このように、企業による人権尊重の必要性について国際的な関心が高まっていることを受け、当社においても人権尊重の推進は重要な課題と捉え、人権尊重に関する取り組みをさらに推進すべく、人権デュー・ディリジェンスを開始しました。

#### ▶「ビジネスと人権に関する指導原則（UNGP）」が特に求める3項目と当社の取り組み

ビジネスと人権に関する指導原則	当社の取り組み
①人権方針の策定（UNGP16）	2020年：「人権と労働に関する方針」を策定
②人権デュー・ディリジェンスの実施（UNGP17）	2022年：「人権デュー・ディリジェンス」を開始
③苦情処理メカニズムの構築（UNGP22）	2023年：「人権・差別問題」「労働問題」をはじめとした問い合わせ内容別の外部窓口の設置・拡充 2024年：協力会社に向けて「CSR調達セルフ・アセスメント・ツール」を参考にしたサステナビリティアンケートを実施

\* UNGP：「ビジネスと人権に関する指導原則（UN Guiding Principles on business and human rights）」の略。数字は、UNGPのなかでの項目番号

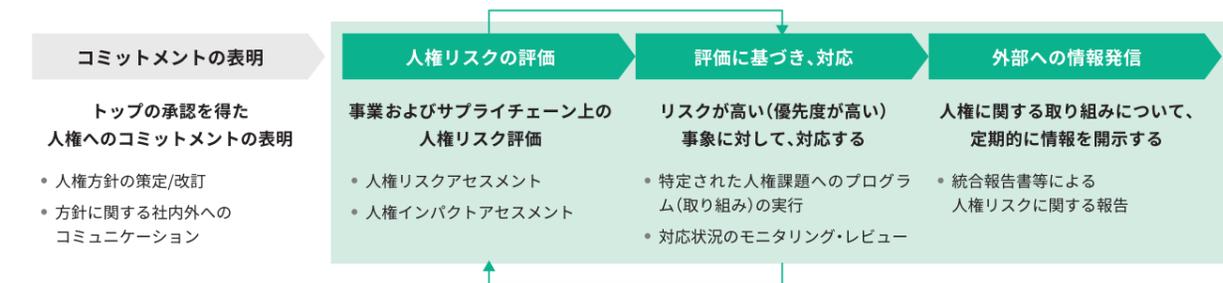
### 人権デュー・ディリジェンス推進体制

人権を尊重した経営の推進のために以下体制を構築しています。働き方改革テーマを重要な作業部会と位置づけ、当社の主要分野に精通したメンバーで構成されています。また、当社の人権関連活動をリードする当該メンバーに対して、人権に関する包括的な理解と最新動向の把握を目的として、社外専門家による人権研修を実施しています。

- 監督責任** 取締役会
- 執行責任** 人権・労働分野の適正運用に係る担当役員
- 推進体制** サステナビリティ委員会及び傘下の働き方改革テーマ

### 人権デュー・ディリジェンスの実施

#### ●人権デュー・ディリジェンスのプロセス



#### ●人権リスクの評価

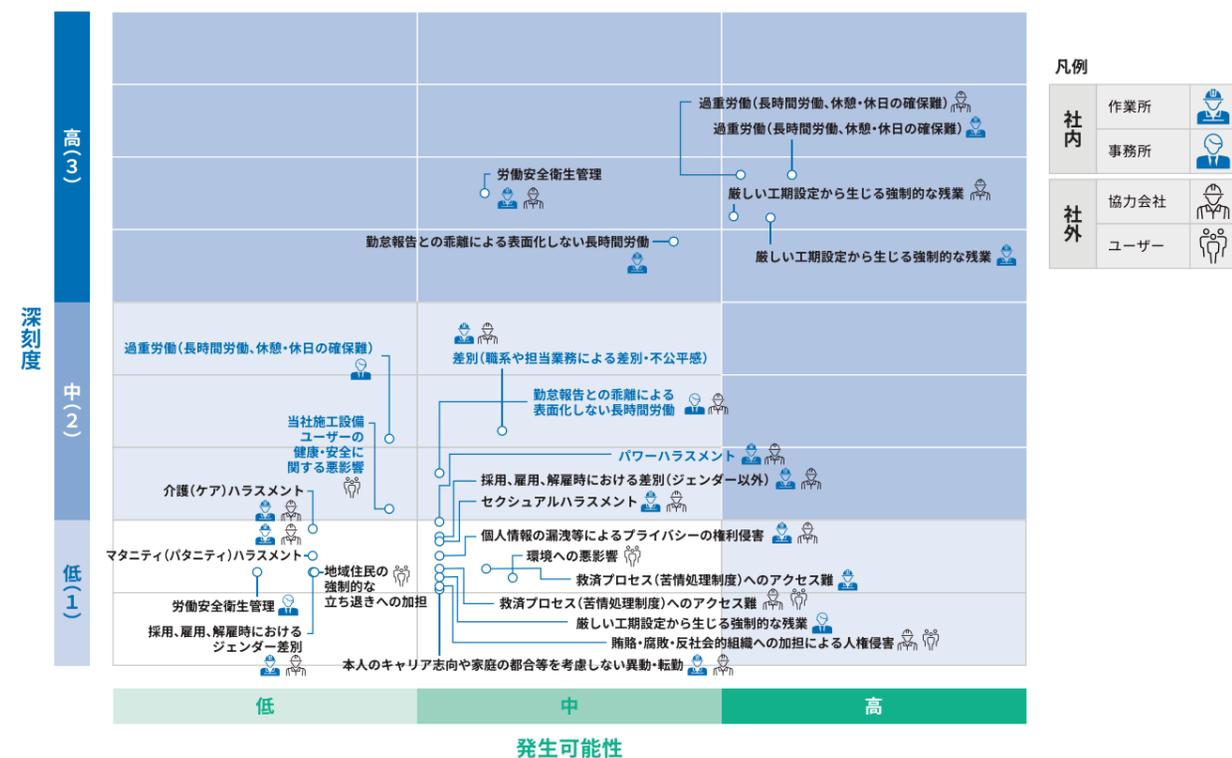
人権リスクを評価する範囲を設定し、「ビジネスと人権に関する指導原則」をもとに網羅的にリスクを洗い出し、想定できるすべての人権リスクに対して、「発生可能性」及び「深刻度」について数値化を行いました。さらに、自社の従業員に対して人権に関する研修を開催し、受講後にアンケートを実施するほか、協力会社にアンケートを実施し、自社やバリューチェーン上の人権リスクの評価を実施しています。

#### ▶評価の範囲

項目	対象
①地域	国内拠点
②事業範囲	設備工事業
③ステークホルダー	自社の従業員・契約社員のほか、協力会社（従業員・契約社員）までを含む

## 人権リスクマップ

数値化した「発生可能性」及び「深刻度」をもとに、人権リスクマップを作成し、作業所における「労働安全衛生管理」、「勤怠報告との乖離による表面化しない長時間労働」、「厳しい工期設定から生じる強制的な残業」、「過重労働（長時間労働、休憩・休日の確保難）」が特に重要な人権リスクと特定しました。



## 重要な人権リスクに対する取り組み

### ● 労働安全衛生管理

当社は、労働安全への取り組みを従来より積極的に進めており、「安全衛生方針」を定め、「度数率（労働災害の発生頻度）」及び「強度率（被災内容の重さ）」を開示し、労働災害発生状況を分析しています。ここ2,3年の労働災害発生状況を見ると、現場管理者を含む『経験年数5年未満』『危険予知不足』による災害が多くなっています。『危険予知不足』『ルール不遵守』の低減を目指し、現場における日頃の安全指導、作業員とのコミュニケーションをとり、繰り返し指導が重要であると考え活動を進めてまいります。

### ● 勤怠報告との乖離による表面化しない長時間労働

2024年4月からの法改正により、長時間労働を意識した時間外労働の過少申告等で、実態とかけ離れた労働時間が潜在するリスクがあります。タイムリーな労務管理を行う仕組みを整えるとともに、研修等を通じた適切な労務管理の啓発を繰り返し行います。また、時間外労働を減らす施策の一例として、現場作業の好事例集を社内共有し、1時間でも残業を減らす工夫を進めると

ともに、休暇を取りやすくするための風土醸成を進めています。

### ● 厳しい工期設定から生じる強制的な残業

客先からの短い工期の要望や少ない閉所日数の設定に対し、案件受注時に「4週8閉所」の条件を提示する等の「客先への交渉力強化」に取り組んでいます。また、設備トップグループ企業として業界内で発信を続けることで外部環境を変えていき、技術力を持ったビジネスパートナーとしてさらなる高みを目指していきます。社内では、より一層の新卒採用・中途採用の拡大に取り組んでまいります。

### ● 過重労働（長時間労働、休憩・休日の確保難）

当社にとって、長時間労働の是正は喫緊の課題です。長時間労働対策は各事業拠点の法令に従い各所で取り組んでいましたが、継続的に生産性高く働くノウハウを蓄積し、個人ではなくチームで助け合いながら、全社を挙げて長時間労働の是正を実現していくために、「SMILE Project」が始動しました。

## 人権及び働き方改革に関する研修

「人権と労働に関する方針」のもと、多様化する社会環境においても、人権を尊重した経営を推進しています。その取り組みの一環として、管理職向けの意識変革を目的とした人権及び働き方改革に関する研修を実施しています。

2024年度は、全従業員を対象に人権リスクに関する

研修をWebを通じて実施しました。研修後、アンケートを通じて理解度を確認するとともに、人権課題に係る社内の実態把握に努めました。また、階層別研修の一つでもある新任幹部職研修・課長代理研修時にも人権に関する研修を開催するほか、定期的に施工現場における人権リスクに関するヒアリングも実施しています。

## 健康経営の取り組み

### 健康経営に取り組む目的・方針

#### ● 健康経営宣言

2024年4月に、トップメッセージとして社長自ら「ダイダシ健康経営の目指すところ」を発表しました。

役員一人ひとりが幸福な生活を送り、一致協力して会社の成長と社会の発展に貢献することが重要であると考えます。

この考えのもと、QOL（Quality of Life）の改善に取り組み、役員全員の健康で心豊かな生活を目指すことで、会社の発展、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

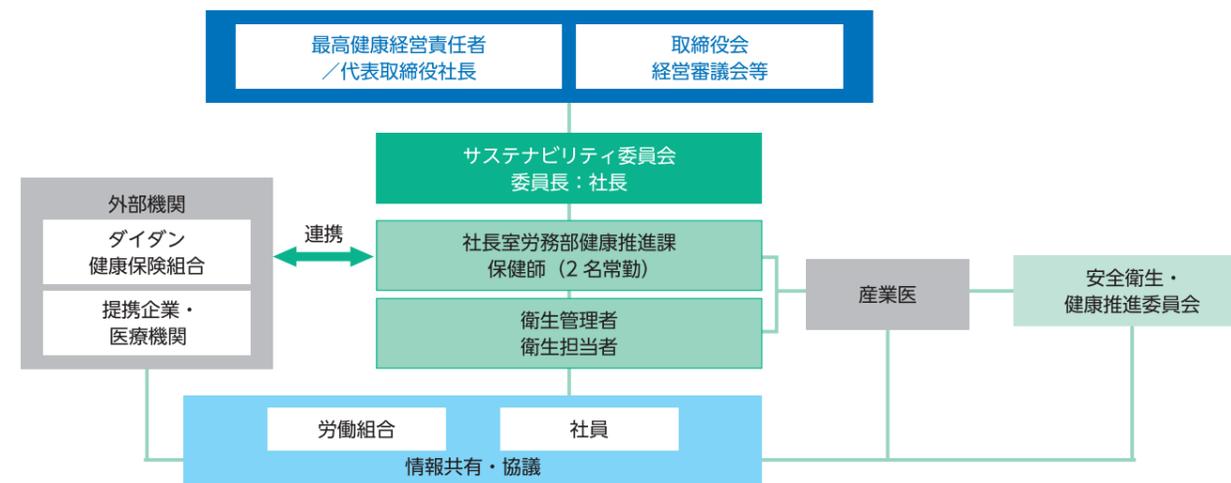
#### ● 目指す姿

1. 役員一人ひとりの健康意識の向上  
役員一人ひとりが健康を意識し、ヘルス・リテラシーの向上を図り、健康を維持・増進するための取り組みを積極的に支援します。
2. 健康で働きやすい職場環境の整備—会社の発展  
働き方改革等の推進を通じ、ワークライフバランスを実現し、一人ひとりが能力を最大限に発揮できる健康で働きやすい職場環境を作り、さらなる会社の成長を目指します。
3. 健康寿命の延伸—地域、社会への貢献  
役員及び当社と関連する人々が健康で長く活躍できるように支援し、人材を育成することで地域、社会に貢献します。

### 推進体制

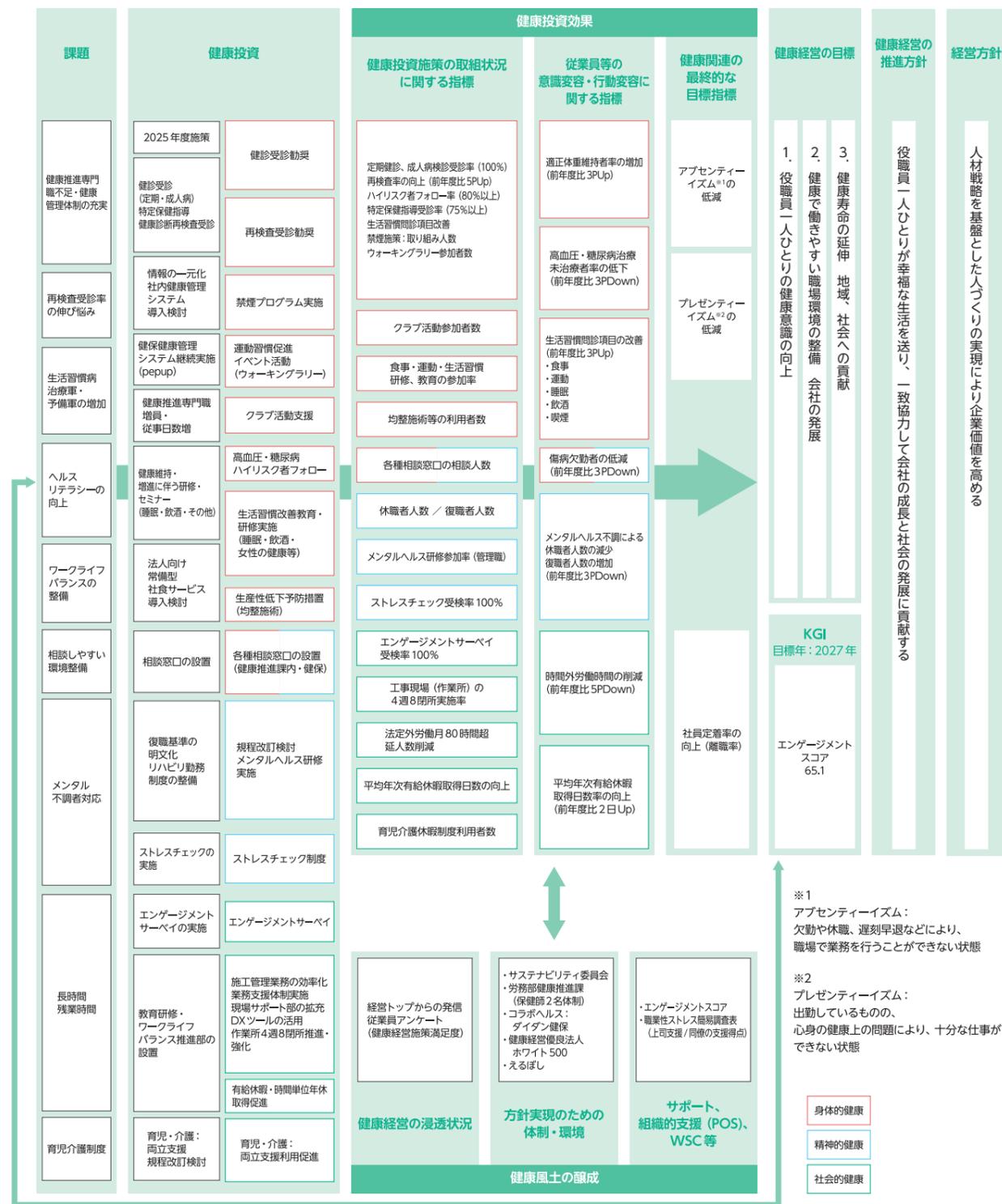
社長を委員長とするサステナビリティ委員会のもと、社長室労務部健康推進課が、健康経営に係る計画・実施・検証ならびに社内展開などの取り組みを推進しています。

また、その結果を取締役に報告・付議し、取締役会による監督を受ける体制となっています。



健康課題と目標

▶ダイダシ株式会社 健康経営戦略マップ (2025年度)



※1  
アブセンティーズム：  
欠勤や休職、遅刻早退などにより、  
職場で業務を行うことができない状態

※2  
プレゼンティーズム：  
出勤しているものの、  
心身の健康上の問題により、十分な仕事か  
できない状態

身体的健康  
精神的健康  
社会的健康

具体的な取り組みの実績値と目標値

		年度実績			2025年度目標値	状況	備考	
		2022年度	2023年度	2024年度				
健康投資効果の取り組み状況	定期健康診断受診率	100%	100%	100%	100%	▲		
	定期診断後の精密検査受診率	75.6%	92.2%	95.7%	95.0%	▲		
	ストレスチェック受診率	98.3%	98.8%	99.4%	100%	▲		
	広く従業員に行う施策の参加率	メンタルヘルスセミナー	58.3%	45.0%	22.0%	80.0%	▼	
		健康情報提供システム	96.6%	98.0%	96.2%	100%	▼	
		ウォーキングラリー	20.8%	23.4%	26.5%	35.0%	▲	
	疾病予防対策の参加率	特定保健指導該当率	20.2%	22.2%	22.5%	20.0%	▲	
		特定保健指導実施率	74.3%	65.2%	83.5%	80.0%	▲	
	各施策の従業員の満足度	健康情報提供システム (Pepup)	-	-	35.6%	75.0%	-	従業員アンケート率
	労働時間の状況	月平均総労働時間	182時間	184時間	177時間	180時間	▼	
休暇取得の状況	年次有給休暇取得率	53.2%	58.3%	56.0%	60.0%	▼		
従業員の意識変容・行動変容	健康診断の問診票の集計結果	喫煙率	35.7%	34.1%	32.0%	30.0%	▼	健康経営度調査票基準
		適正運動習慣者率	21.4%	23.0%	23.3%	25.0%	▲	健康経営度調査票基準
		適正睡眠維持者率	54.6%	52.6%	47.2%	55.0%	▼	健康経営度調査票基準
		適正飲酒習慣者率	78.5%	77.3%	74.0%	85.0%	▼	健康経営度調査票基準
		適正食習慣者率	44.8%	46.4%	49.7%	48.0%	▲	健康スコアレポート基準
ハイリスク者の管理	生活習慣病率	22.5%	22.9%	22.2%	20.0%	▼	糖尿病・高血圧・脂質異常	
	重症化率	7.8%	8.2%	8.0%	6.0%	▼	上記+合併症	
ヘルスリテラシー	生活機能低下率	0.3%	0.2%	0.3%	0.1%	▲	上記の重篤な者	
	健康情報提供システム利用率	50.7%	38.3%	39.1%	50.0%	▲	月1回以上のアクセス者率	
最終的な目標指標	健康診断の結果指標	適正体重維持者率	57.6%	59.4%	56.9%	60.0%	▼	
		有所見者率	60.9%	56.9%	69.0%	53.0%	▲	
		血圧リスク者率	1.2%	1.0%	1.4%	1.0%	▲	
		血糖リスク者率	1.0%	0.7%	0.3%	0.5%	▼	
離職の状況	平均勤続年数	17.4年	16.9年	16.6年	18.0年	▼		
	新入社員定着率	86.4%	80.2%	92.9%	86.0%	▲		
休職の状況	メンタルヘルス不調による休職者数	27人	19人	28人	10人未満	▲	長期欠勤を含む	
	メンタルヘルス以外による休職者数	6人	8人	9人	5人未満	▲	長期欠勤を含む	
アブセンティーズム	労働生産性損失割合	-	18.7%	18.1%	15.0%	▼	SPQ (東大1項目版)	
アブセンティーズム	傷病による欠勤者数休職制度利用率	0.75%	0.68%	0.65%	0.5%	▼	全従業員に占める割合	
ワークエンゲージメント	エンゲージメントスコア	-	61.0	63.0	65.1	▲	従業員エンゲージメントサーベイの結果	
ストレスチェック集計結果	高ストレス者率	11.6%	12.3%	12.5%	10.0%	▲		

※個別施策投資額：○特定健康診断・指導事業費 11,121千円 ○健康情報提供システム利用費 9,746千円

健康経営優良法人 2025 ホワイト 500 認定取得

当社は、過去5年連続の認定に続き、自社初となる「健康経営優良法人2025ホワイト500 (大規模法人部門)」の認定を取得しました。引き続き維持・向上に向けた活動を行ってまいります。



主な取り組み施策

当社は、コラボヘルスの一環として、ダイダシ健康保険組合の主催のもと「ウォーキングラリー」を年2回開催しています。また、毎年各事業所の有志とともに、近隣のスポットを巡るウォーキングイベントを開催し、MAPにまとめて従業員に提供しています。この活動を通してスポーツ庁の「FUN+WALK PROJECT」にも参加、併せて「Sport in Life コンソーシアム」に加盟し、「スポーツエールカンパニー2025」の認定を受けました。また、ヘルスリテラシー向上のため、「肩こり・腰痛セミナー」の開催、全国労働衛生週間における各種健康情報の提供、介護に関する情報動画の配信を行っています。これらの活動を通じ、従業員の健康に対する意識を高め、より良い職場環境づくりに取り組んでいます。



取引先の健康増進支援

当社は、2023年1月に「パートナーシップ構築宣言」を公表し、2023年8月に「健康経営に関する取組」を個別項目に追加しました。マテリアリティ (重要課題) の一つとして「協力会社・サプライヤーとのパートナーシップ構築」を掲げており、安全衛生協議会や専用サイト「協力会社の窓」を通じて、健康経営に関する情報提供や健康イベントの共同実施を進めています。

## 社会との関わり

### 防災協定の締結（地域社会との連携）

当社は、所属する業界団体を通じ、地方自治体の応急対策活動に関する防災協定を締結しています。また、特定の地方自治体及び業界団体と直接協定を結び、迅速な応急支援体制も整えています。被災した地域の復旧に向けた活動に積極的に参加することにより、地域住民の方の生活や地域事業活動の早期復旧の支援を行います。

### ダイダンは社会活動基金による助成

1993年4月、創業90周年事業の地域貢献活動の一環として、公益財団法人大阪コミュニティ財団に「ダイダンは社会活動基金」を設置しました。その運用収益で、身体障がい者支援、人権教育の充実をはじめ、社会福祉の増進に向けた活動を推進しています。

### 社外に向けた技術情報発信

わが国の建築設備業の発展に寄与するため、当社では、業界団体・学会活動の運営支援、外部組織への講師派遣を行っています。特に外部組織への講師派遣では、当社の技術社員が全国の研修機関や学校法人で、設備技術の指導を行っています。

#### ▶外部団体所属役員及び講師派遣先一覧

派遣先	役職
一般社団法人日本空調衛生工業協会	会長
一般社団法人電気設備学会	理事
一般社団法人日本電設工業協会	諮問委員
一般社団法人日本計装工業会	運営協議員
一般社団法人建築設備技術者協会	理事
一般社団法人建築設備総合協会	理事
一般社団法人日本建築設備診断機構	理事
一般社団法人日本電気工事士協会	副会長
公益財団法人建設業適正取引推進機構	理事
一般社団法人公共建築協会	理事
大阪配管高等職業訓練校	非常勤講師
工学院大学	非常勤講師
東洋大学	非常勤講師

※外部団体は2025年6月現在、講師派遣は2024年4月～2025年3月の状況を記載しています

### ●「ダイダンは技報」の発行

当社の技術開発、研究内容を社外に向けて紹介することを目的として、毎年9月に「ダイダンは技報」を発行しています。実験、検証方法から解析結果まで、グラフや写真を用いて詳しく説明しています。2024年9月に118号を発行し、国立国会図書館へ寄贈しました。



#### 2024年9月号掲載内容

- 真空排水システムの基礎検証
- 冷媒銅管溶接効率化を目的とした局所窒素置換治具の開発
- 新潟支店建て替え計画コンセプト
- カーボンニュートラル時代に向けた照明設備
- 自然換気の有効利用に向けた検討
- ZEBの基本計画の要点とBELSデータベースの分析
- 大規模現場における現場事務所のウェルネス化事例
- ダンパーの漏気量の検証
- 天カセ用プロペラファンの効果検証
- クラウド型監視・制御システムREMOVISの海外向け対応の概要及びシンガポール支店での導入検証
- ニューラルネットワークによる室内温度予測
- 写真測量法より作成した建物3DモデルによるCFD活用の検討
- 環境見える化システムの開発
- 細胞培養加工施設の作業環境に関する研究
- エアバリアブースの開口部における気流性状の検証
- セラボ殿町CPFにおける環境モニタリングデータの分析
- 停電時におけるクリーンルーム内の浮遊微粒子の分析

## 社会貢献活動

ダイダンは企業市民としての社会的責任を果たし、地域社会との信頼関係を構築するため、社会貢献活動への参加やスポーツ活動の支援に取り組んでいます。

### ● 社会貢献活動

事業所名		活動概要
東北支店	ドナルド・マクドナルド・ハウスせんだい クリーン活動	宮城県立こども病院に入院中のご家族の滞施設における清掃活動
北陸支店	まち美化パートナー制度	福井城址周辺の清掃活動
イノベーション本部、中国支店	尾道・松永湾の干潟保全活動	干潟でアサリの生息環境を保全するための土壌の耕うん、稚貝補放流とネットによる保護
シンガポール支店 DAIDAN INTERNATIONAL ASIA	Charity With Love Food Goodies Bag Program 2024	恵まれない家庭450世帯に食料品を詰め合わせたバッグをプレゼント（食料品をバッグに詰めて、各家庭を訪問し手渡し）
大阪本社	アドプト・リバー・プログラム	土佐堀川の肥後橋～淀屋橋間の歩道における清掃活動
豊田支店	交通安全立哨活動	曙町交差点における交通安全立哨活動



ドナルド・マクドナルド・ハウスせんだい クリーン活動 (東北支店)



まち美化パートナー制度 (北陸支店)



尾道・松永湾の干潟保全活動 (イノベーション本部・中国支店)



Charity With Love Food Goodies Bag Program 2024 (シンガポール支店・DAIDAN INTERNATIONAL ASIA)



アドプト・リバー・プログラム (大阪本社)



交通安全立哨活動 (豊田支店)

### ダイダンの森整備活動への取り組み

森林は、二酸化炭素を吸収し、多様な生物を育み、豊かな水の恵みをもたらすことから、ダイダンがその育成を支援することは、サステナブルな社会の実現に向け価値が高いと考えています。

<p>【東京本社】 埼玉県森林CO<sub>2</sub>吸収量証明書</p>	<p>【北陸支店】 森林整備活動CO<sub>2</sub>吸収証明書</p>	<p>【大阪本社】 CO<sub>2</sub>吸収証明書</p>	<p>【四国支店】 CO<sub>2</sub>吸収量証明書</p>	<p>【九州支店】 熊本県森林吸収量証明書</p>
---	---	---------------------------------------	--	-------------------------------

### ダイダンの森活動一覧

ダイダンでは、本社・支店のある9カ所で各自治体と協定を結んでいます。

事業所	活動場所（規模）	活動日	実施内容	植樹	CO <sub>2</sub> 吸収量
北海道支店	道民の森・神居尻地区「水源の森」(1.0ha)	2024/10/5	植樹活動	アカエゾマツ、カシワ、ミズナラ、ヤチダモ、イタヤカヤデ等の植樹作業	—
東北支店	宮城県黒川郡大和町宮床(3.47ha)	2024/10/19	記念植樹・植樹活動	植樹作業、枝打ち除伐作業、遊歩道づくり作業	—
東京本社	埼玉県入間郡毛呂山町(4.55ha)	2024/6/17	植樹・伐採活動	ヒノキの間伐（2本）	7.8tCO <sub>2</sub> /年
名古屋支店	三重県菟野町(6.5ha)	2024/11/9	除伐・植樹活動	雑木の除伐作業とヤマザクラ・アオダモ・ミツバツツジ等の植樹（20本）	—
北陸支店	石川県かほく市大崎地区(0.52ha)	2024/11/16	植樹活動	クロマツの植樹（200本）	0.2tCO <sub>2</sub> /年
大阪本社	滋賀県甲賀市甲南町杉谷(12.56ha)	2024/11/23	整備活動	伐倒作業と害獣から木々を保護するためのテープ巻き作業	—
中国支店	岡山県小田郡矢掛町(1.6ha)	2024/11/30	伐採・植樹活動	伐倒作業及びヤマザクラ・イロハモミジの植樹（75本）	—
四国支店	香川県木田郡三木町(2.85ha)	2024/12/7	植樹活動	ヒノキの植樹（540本）	1.2tCO <sub>2</sub> /年
九州支社	熊本県球磨郡湯前町(10.61ha)	2024/10/19	植樹活動	オビスギの植樹（500本）	7.85tCO <sub>2</sub> /年



家族で植樹する様子



「ダイダンの森 ゆのまえ」での集合写真

### 協賛活動

ダイダンは、責任ある企業市民として地域社会のために、さまざまな貢献活動に取り組んでいます。

<p>陸上中長距離 田中希実選手 個人スポンサー</p>	<p>Jリーグ 町田ゼルビア サポートカンパニー</p>	<p>一般社団法人 日本ろう者サッカー協会 オフィシャルパートナー</p>	<p>一般社団法人パラフットボール イベント協賛</p>
<p>Bリーグアルバルク東京 サポートカンパニー</p>	<p>Jリーグ 京都サンガ サポートカンパニー</p>	<p>Xリーグ 胎内ディアーズ オフィシャルスポンサー</p>	<p>WROJapan2024 ナショナルシルバースポンサー</p>

### 新CMの放映を開始しました

2024年10月に放映を開始した新CM「整え、挑む」篇は、当社が2021年より支援している陸上・中長距離の田中希実選手（New Balance所属）に出演していただきました。田中選手が日々コンディションを整えながら世界の記録へ挑戦する姿に、当社が空気・水・電気のコントロールを通じて空間価値の創造へ挑戦する姿を重

ねて表現しています。同時に放映を開始した「生きる、のそばにいる。」篇では歌手のビッケブランカさんにオリジナル楽曲の『伝言』を書き下ろしていただきました。ありふれた生活の中に身近に存在する設備だからこそ、設備には暮らしを止めない使命があることを表現しました。



QRコード  
「整え、挑む」篇  
<https://youtu.be/TxzjqXiSI08>

QRコード  
「生きる、のそばにいる。」篇  
<https://youtu.be/MOJNrLRINLY>